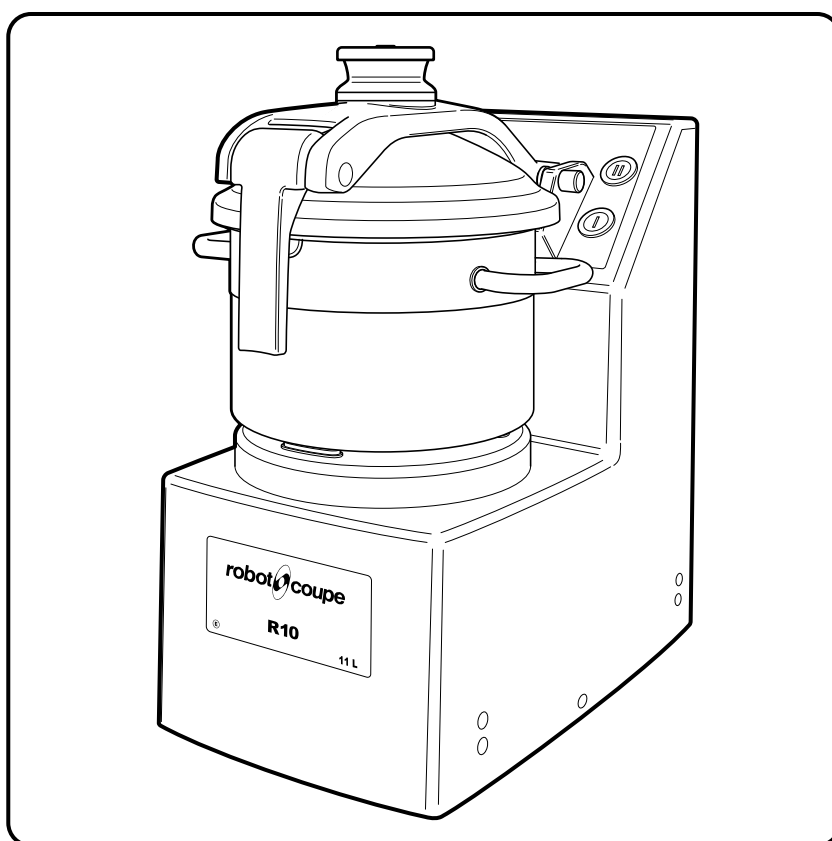


ロボクーブ カッターミキサー
R-8E / R-10E / R-15E (業務用)

robot coupe[®]

取扱説明書



このたびは、当社のロボクーブ カッターミキサー (R-8E / R-10E / R-15E) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次



安全上のご注意	1 ~ 7
各部の名称	8
据付けについて	9
操作手順	10 ~ 16
カッターアッセンブリーの分解と刃の付け替えかた	17 ~ 20
カッターアッセンブリーの分解方法	17・18
カッターアッセンブリーの組立て方法	19 ~ 20
カッターの主な特長と用途	21
平刃カッター	21
波刃カッター	21
ギザ刃カッター	21
平刃カッターの研ぎかた	22
オイルシールについて	22
容器蓋アーム、容器蓋の分解と組立て方法	23・24
容器蓋アーム、容器蓋の分解方法	23
容器蓋アーム、容器蓋の組立て方法	24
お手入れ	25 ~ 28
エキストラ容器（オプション）の使いかた	29 ~ 34
エキストラ容器の部品	29
エキストラ容器を取り付けて調理する方法	30 ~ 32
小カッターアッセンブリーの分解方法	33
小カッターアッセンブリーの組立て方法	34
故障の診断と手当	35・36
仕様	40
保証書（別添付）について / 消耗部品 / 補修用性能部品の保有期間	41

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください



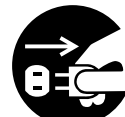
表示と意味は次のようになっています

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付工事は、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



確認

据え付ける場所が、水などで漏れていないことを確認すること

モーターが高速回転するとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷をつけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



禁止

電源コードや電源プラグ（電源プラグ使用の場合）が破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取り付け面にほこりなどが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線に触らないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作したりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

異常時は停止スイッチ「◎」（赤）を押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓を開けて換気すること

本機のスイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、引火爆発し危険です。



接触禁止

カッターアッセンブリーの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

誤って刃に触れた場合、ケガの原因になります。



置場所

容器より取り外したカッターアッセンブリーは、丈夫な台の上に置くこと

転倒させたり、落としたりした場合、ケガの原因になります。

警告



挿入禁止

カッターアッセンブリーの回転中は、容器蓋ファンネルの投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。カッターアッセンブリーの刃や箸、スプーンなどが破損した場合は、異物混入の原因になります。



禁止

カッターアッセンブリーの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を開けないこと

誤ってカッターアッセンブリーに触れた場合、食材が飛び散り、周囲を汚す原因になります。



専用電源切

容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、電源プラグを抜く(電源プラグ使用の場合)か、本機専用電源を『OFF(切)』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターアッセンブリーが回転して、ケガをする恐れがあります。



専用電源切

容器の取り外しの際は、停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、電源プラグを抜く(電源プラグ使用の場合)か、本機専用電源も『OFF(切)』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターアッセンブリーが回転して、ケガをする恐れがあります。



カッター外す

容器内の食材の取り出しは、先にカッターアッセンブリーを取り出してからおこなうこと

誤ってカッターアッセンブリーに触れた場合、ケガの原因になります。



禁止

モーター軸に付いているオイルシールは、傷を付けけないこと

オイルシールを損傷しますと、容器から調理液や洗浄液が漏れた場合、モーター軸へ流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、ショート、感電、火災の原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、容器からの液漏れや、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

電気の配線に不備があると感電、火災の原因になります。

警告



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと、転倒、落下によるケガの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグ使用の場合、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂の部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、発火の原因になります。



液体低速調理

液体の食材は、必ず低速のみで調理すること

高速で調理しますと、容器と容器蓋の間から食材が漏れて、周囲を濡らす原因になります。



専用電源切

お手入れのときや点検のときは、必ず停止スイッチ「◎」（赤）を押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

誤って操作スイッチに触れた場合、カッターアッセンブリーが回転して、ケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因にもなります。



ネジ部洗浄

洗浄の際、カッターホルダーサポートとホルダーナットのネジ部は、きれいに洗浄すること

ネジ部に付着物があると、調理中にホルダーナットがゆるむことがあります。ホルダーナットがゆるんだ状態で、カッターアッセンブリーを持った際、部品が外れて落下による、ケガの原因になります。



除菌洗浄

カッターアッセンブリー、容器、容器蓋、容器蓋ファンネル、容器蓋ガイド、容器蓋用キャップ、蓋パッキン、モーター軸などは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

⚠ 注意



分解洗浄

洗浄の際、カッターアッセンブリは、必ず分解して洗浄すること
分解して洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



漬け置き禁止

お手入れのときは、カッターアッセンブリを洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままにして置かないこと
泡でカッターアッセンブリの刃が見えなくなり、誤ってカッターアッセンブリの刃に触れると、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと
洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



入れ過ぎ禁止

容器のブレードケーシングの上端を超える量の液体物を入れないこと
モーター軸部より機械の内部に流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

ご使用後は、安全のため停止スイッチ「◎」(赤)が「OFF (切)」になっていることを確認し、本機専用電源も『OFF (切)』にし、電源プラグ使用の場合は、コンセントから電源プラグを抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

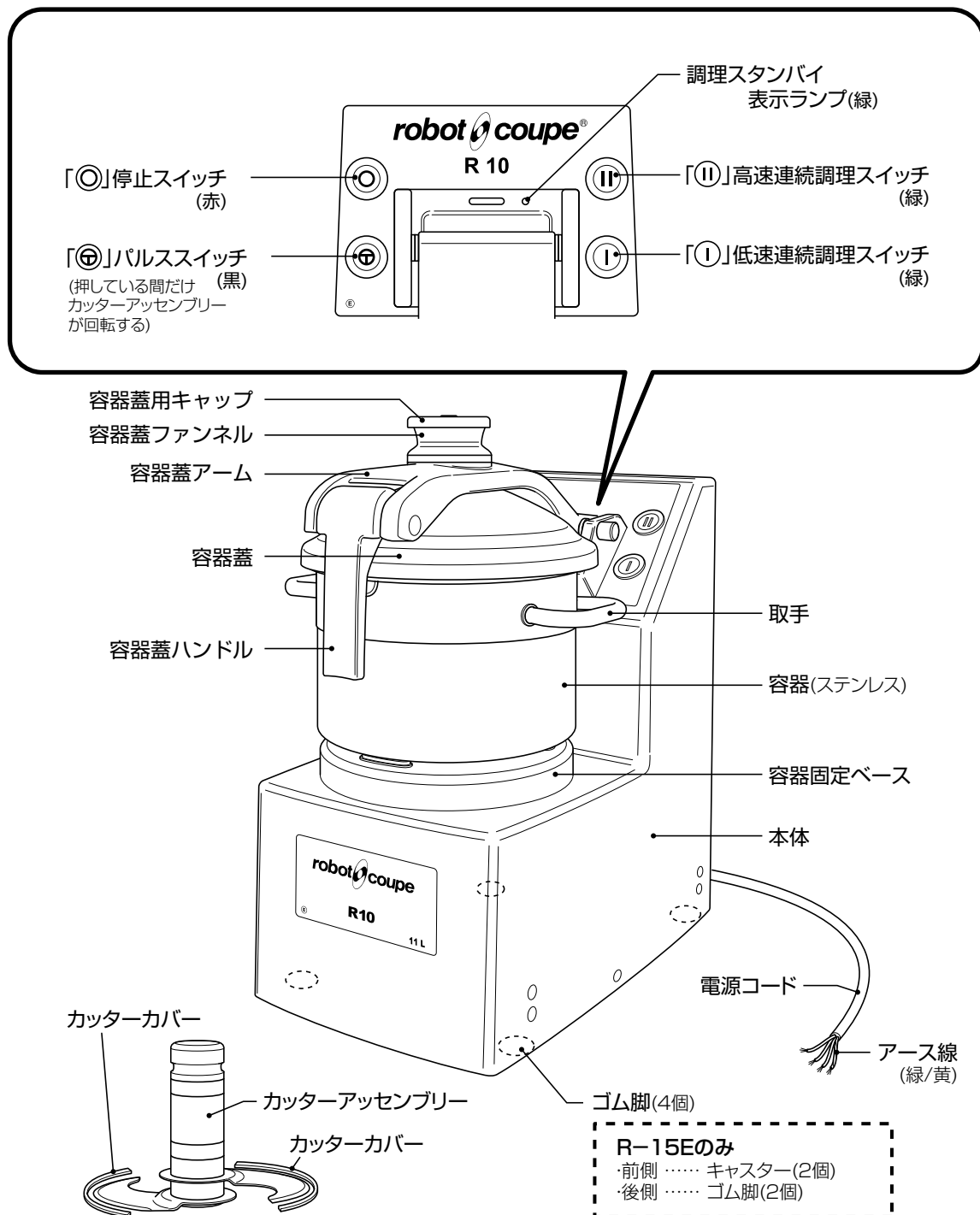


テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

各部の名称

本機は、食材を粉砕、攪拌調理する機械です



据付けについて

⚠ 警告



湿気の多いところや、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと
本体や電源コードに水がかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。



据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、感電の原因になります。



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりすると、転倒、落下によるケガなどの原因になります。

本機は、パン生地などの負荷の高い食材を攪拌すると電流値が高くなるため20A以上の専用漏電遮断器付サーキットブレーカーを設備してください

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

操作スイッチが正面にくるように据え付けてください

本機は、電源に電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：3.5 m、4心

電源コードのアース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

お願い

電源コードの白色の線は、設備側の中線に必ず接続してください。

白色の線を設備側の中線に接続しないと、機械は正常に動作しません。

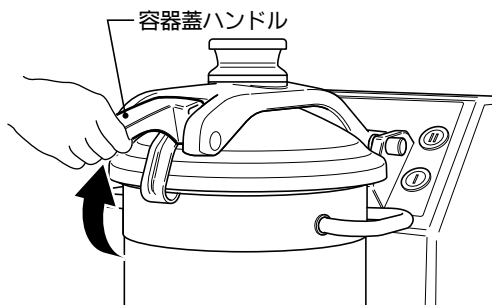
操作手順

1. 調理を始める前に、「お手入れ」(25 ページ) を参照して、容器、容器蓋、カッターアッセンブリーをきれいに洗淨、清掃してください

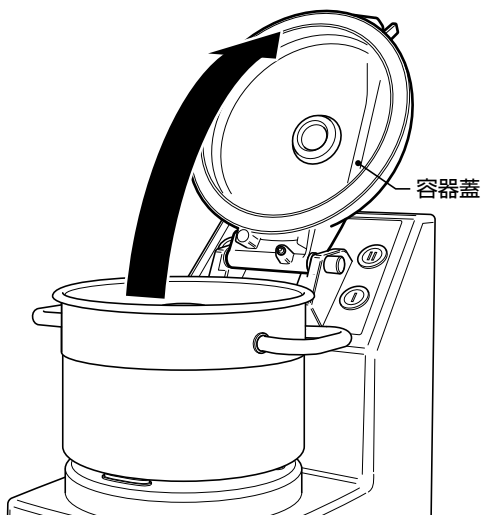
※平刃カッター (オプションの波刃カッターまたはギザ刃カッター) は以下、カッターと呼びます。

2. 容器蓋を開けてください

- 1) 容器蓋ハンドルを手前に引いて上に押し上げ、ロックを外してください。



- 2) 容器蓋を、止まるところまで開けてください。



3. カッターアッセンブリーを取り付けてください

お願い

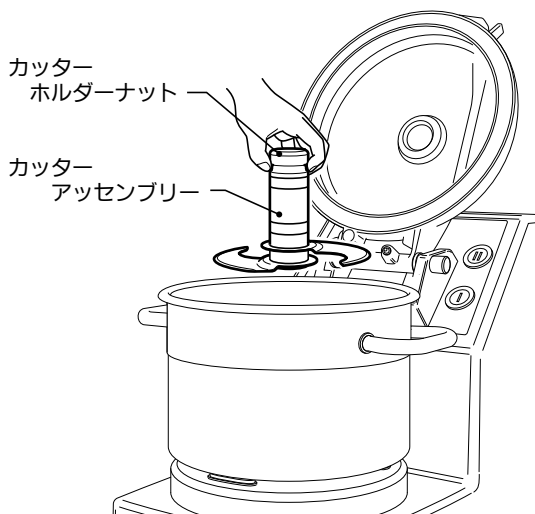
平刃カッターの刃先には、ケガ防止のためのカッターカバーを取り付けております。

調理にご使用の前には、カッターカバーを取り外してください。

カッターアッセンブリーを分解、組立てをする際、ケガ防止のためカッターカバーを刃先に取り付けて作業をおこなってください。

カッターアッセンブリー上部のカッターホルダーナット部を持ち、本体モーター軸に真上からゆっくりと差し込んでください。

左右に少し回してコトンと落ち込む位置まで押し下げてください。



⚠ 警告



カッターアッセンブリーの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

4. 食材を容器内に入れてください

お願い

容器に食材を入れるときは、必ず先にカッターアッセンブリーを取り付けてください。

先に食材を入れてしまいますと、カッターアッセンブリーの取り付けができなくなります。

調理する食材は、基本的に包丁で切ることができる堅さのものをご使用ください。

少し堅めの食材は、30mm 角程度までの大きさに切ってください。

1 回に調理できる量は、調理する食材により異なりますが、目安として容器の $1/3 \sim 2/3$ の範囲内の量を入れてください。

液体物を調理するときは、下記の量の範囲内で調理してください。

R- 8E : 4.3L

R-10E : 5.2L

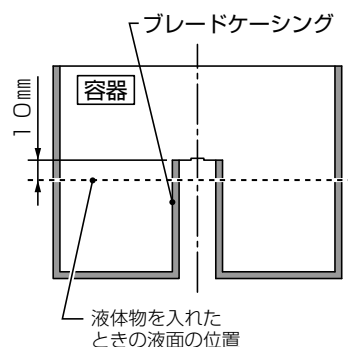
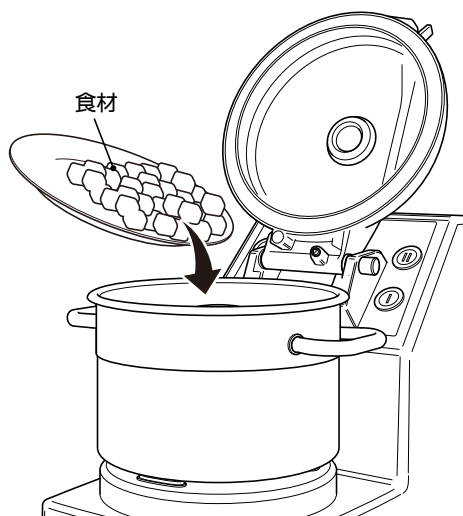
R-15E : 6.8L

上記の範囲を超える量の液体物を入れますと、調理中に容器蓋部分から食材が漏れ出る恐れがあります。

調理する食材は 85°C 以下のものをご使用ください。

調理中に 85°C を超える食材は調理しないでください。

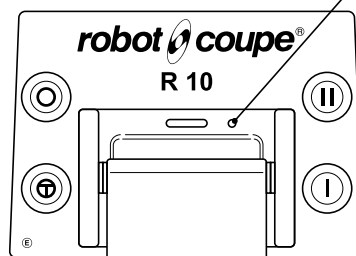
容器蓋と蓋パッキン、カッターアッセンブリーの樹脂リングは、 85°C を超える食材を調理すると変形したり、変色する恐れがあります。



5. 本機専用電源を『ON(入)』にしてください

調理スタンバイ表示ランプ(緑)が点滅します。

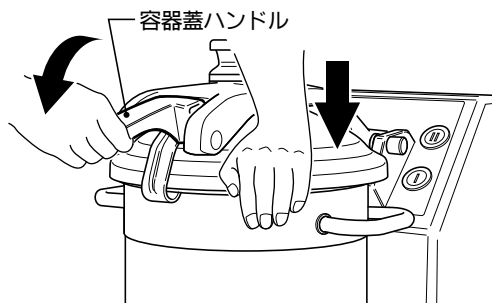
調理スタンバイ表示ランプ(緑)



6. 容器蓋を閉めてください

容器蓋を下ろし、蓋をしっかりと押さえ付けながら、容器蓋ハンドルを下げてもロックしてください。

容器蓋が正しく閉まりましたら、調理スタンバイ表示ランプ（緑）が点灯に切り替わり、調理可能状態になります。

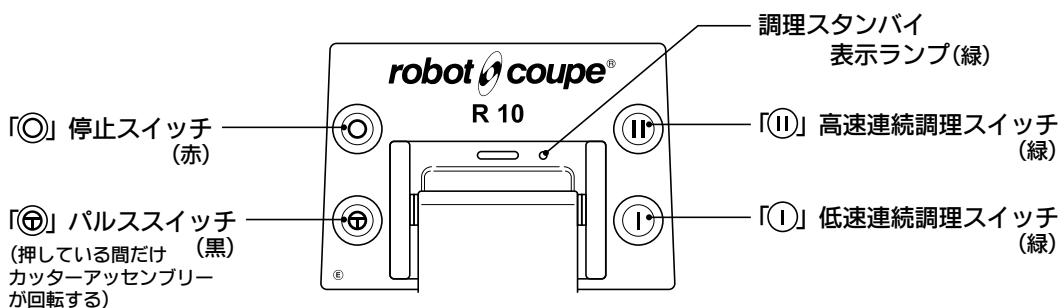


お願い

調理するときは、必ず容器蓋を閉め、容器蓋ハンドルをしっかりかけてください。

容器蓋が開いたままですと、安全装置がはたらいているため、パルススイッチ「㊸」（黒）または低速連続調理スイッチ「①」（緑）を押しても機械は作動しません。

7. 操作スイッチを押して調理をしてください



操作スイッチ	動作
パルススイッチ「㊹」（黒）	<p>押している間だけカッターアッセンブリが回転します。本機専用電源を『ON(入)』にしたときに押した場合は、低速回転になります。</p> <p>低速連続調理スイッチ「①」（緑）を使用した後に押した場合は、低速回転になります。</p> <p>高速連続調理スイッチ「㊺」（緑）を使用した後に押した場合は、高速回転になります。</p>
高速連続調理スイッチ「㊺」（緑）	<p>カッターアッセンブリが高速で連続回転します。 (50Hz：3000r.p.m.、60Hz：3600r.p.m.)</p>
低速連続調理スイッチ「①」（緑）	<p>カッターアッセンブリが低速で連続回転します。 (50Hz：1500r.p.m.、60Hz：1800r.p.m.)</p>
停止スイッチ「㊸」（赤）	<p>カッターアッセンブリの回転が止まります。</p>

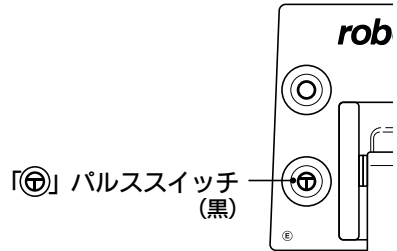
⚠ 注意



液体の食材は、必ず低速のみで調理すること

高速で調理しますと、容器と容器蓋の間から食材が漏れて、周囲を濡らす原因になります。

- 最初にパルススイッチ「㊟」(黒)を数回押し、食材を少し刻んでください。
パルススイッチ「㊟」(黒)で食材を少し刻んでから低速連続調理スイッチ「㊠」(緑)で調理をおこなってください。
調理ムラを抑えることができます。



お願い

パルススイッチ「㊟」(黒)は、食材の刻みおよび調理はじめのかきまぜ攪拌に使用し、調理終了後には使用しないでください。

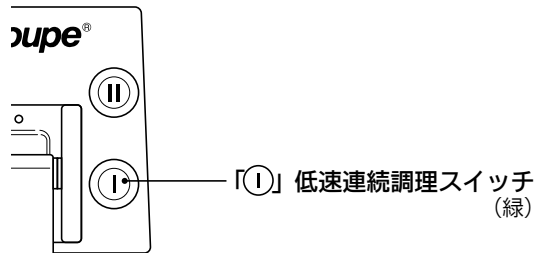
調理した食材は粘度が増しています。

その状態でパルススイッチ「㊟」(黒)を使用すると、モーターに異常な負荷がかかり、過負荷保護装置がはたらい、機械が停止する原因になります。

調理は主に低速連続調理スイッチ「㊠」(緑)でおこなってください。

高速連続調理スイッチ「㊡」(緑)は、最後の仕上げに10～30秒程度使用してください。
高速連続調理スイッチ「㊡」(緑)のみの調理はおこなわないでください。故障の原因になります。

- 低速連続調理スイッチ「㊠」(緑)を押して調理をおこなってください。



- 容器蓋は、透明になっていますので、調理の仕上がり状態を見ながら食材の量や調理時間の調整をおこなってください。

お願い

調理スイッチを切り替える場合は、下記の順番でおこなってください。

低速から高速に切り替える場合……低速連続調理スイッチ「㊠」(緑) →
→ 高速連続調理スイッチ「㊡」(緑)

高速から低速に切り替える場合……高速連続調理スイッチ「㊡」(緑) →
→ 停止スイッチ「㊟」(赤) →
→ 低速連続調理スイッチ「㊠」(緑)

高速からパルスに切り替える場合…高速連続調理スイッチ「㊡」(緑) →
→ 停止スイッチ「㊟」(赤) →
→ パルススイッチ「㊟」(黒)

お願い

高速連続調理スイッチ「⑩」(緑)から、直接低速連続調理スイッチ「①」(緑)、およびパルススイッチ「③」(黒)には絶対に切替えないでください。

モーターに大きな負荷がかかり、故障の原因になります。

カッターアセンブリーのカッターホルダーナットが緩む場合があり、カッターが外れると、ケガの原因にもなります。

調理中、異常音や振動が大きいときは、食材の量が多いことが考えられますので、食材の量を減らしてください。

異音や振動が大きいまま調理を続けると、モーターの負荷が大きく、機械の故障の原因になります。

粘度の高い食材は、容器の1 / 3以下の量に抑えて、20秒以内で調理してください。

調理時間が長いと、故障の原因になります。

調理中、調味料などを投入する場合

容器蓋ファンネルの穴部は、投入口になっています。

必要に応じて、容器蓋用キャップを取り外し、追加食材や調味料を投入してください。

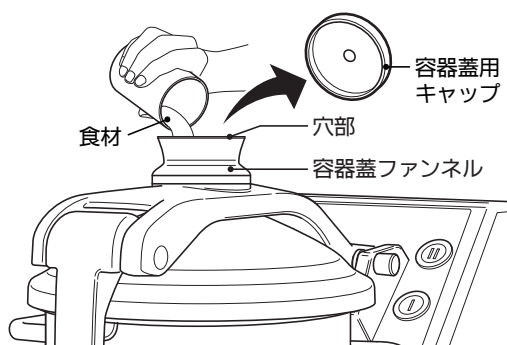
警告



カッターアセンブリーの回転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってカッターアセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

カッターアセンブリーの刃や箸、スプーンなどが破損した場合は、異物混入の原因になります。



お願い

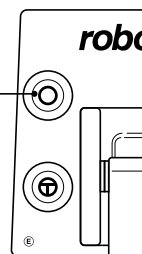
調理中、追加食材や調味料を投入口から投入するとき以外は、必ず容器蓋用キャップを取り付けてください。

8. 調理が終われば、停止スイッチ「③」(赤)を押して機械を止めてください

停止スイッチ「③」(赤)を押すと、カッターアセンブリーの回転が止まります。

本機専用電源を『OFF(切)』にしてください。

「③」停止スイッチ
(赤)



⚠ 警告



容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
誤って操作スイッチに触れた場合、カッターアッセンブリーが回転してケガをする恐れがあります。

お願い

調理中および調理完了後に機械の運転を止めるときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤)を押して止めてください。

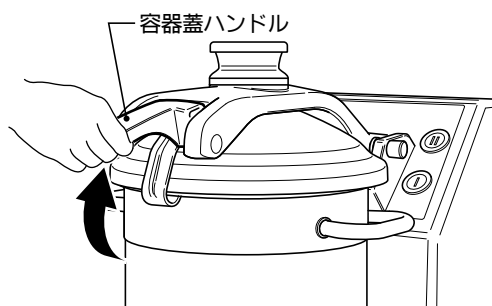
運転中に容器蓋を開けて運転を止める使いかたをしますと、故障の原因になります。

9. 容器蓋ハンドルのロックを解除して、容器蓋を開けてください

⚠ 警告



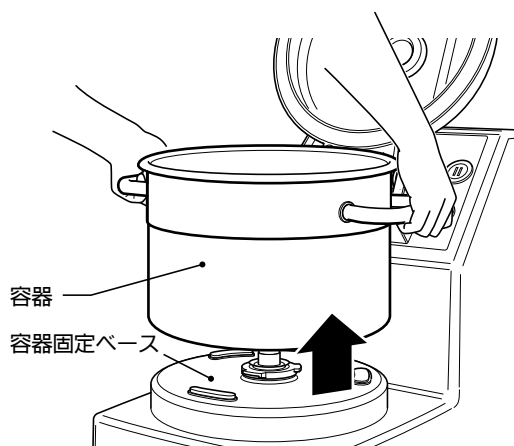
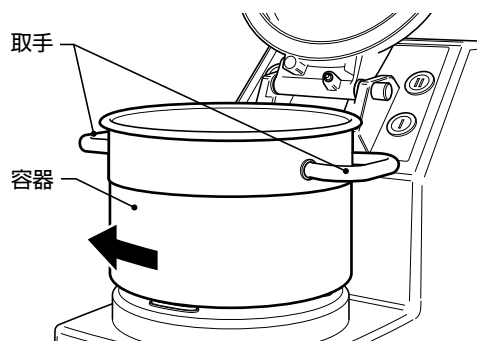
カッターアッセンブリーの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を開けないこと
誤ってカッターアッセンブリーに触れた場合、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲を汚す原因にもなります。



10. 容器を取り外してください

容器の取手を持ち、時計方向に少し回してください。

カッターアッセンブリーを付けたまま、容器を真っ直ぐ上に持ち上げ、容器固定ベースより取り外してください。



11. 容器からカッターアッセンブリーを取り出し、食材を他の容器に取り出して
ください

 警告



容器内の食材の取り出しは、先にカッターアッセンブリーを取り外してからおこなうこと
誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

12. 使用後は、本機のお手入れをしてください

「お手入れ」(25 ページ) 参照

カッターアッセンブリーの分解と刃の付け替えかた

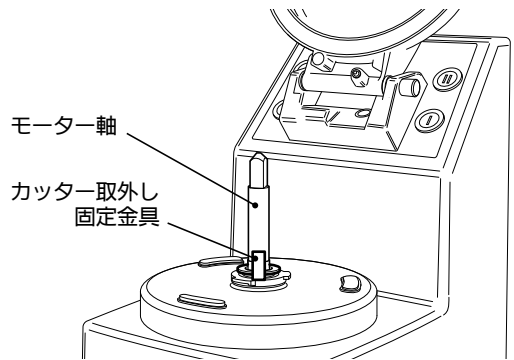
カッターアッセンブリーの分解方法

1. 本機専用電源を必ず切ってください

電源プラグをお使いの場合は、電源プラグを抜いてください。

2. 容器固定ベースから容器を取り外してください

3. モーター軸に、カッター取外し固定具を取り付けてください

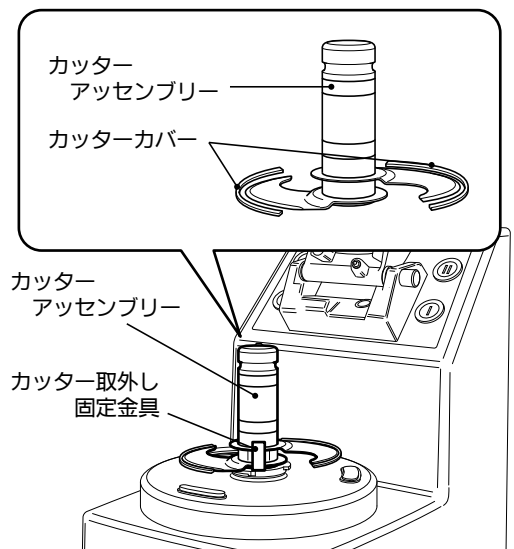


4. カッターの刃先に、カッターカバーを取り付けてください

警告



カッターアッセンブリーの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと。誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



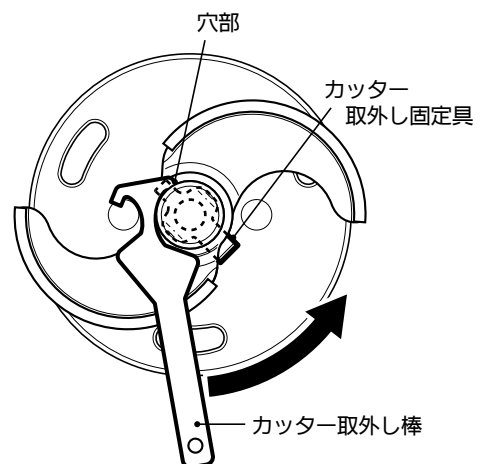
5. カッターアッセンブリーをモーター軸に差し込んでください

6. カッターの下部の刃先が、カッター取外し固定具に当たるように向きを変えてください

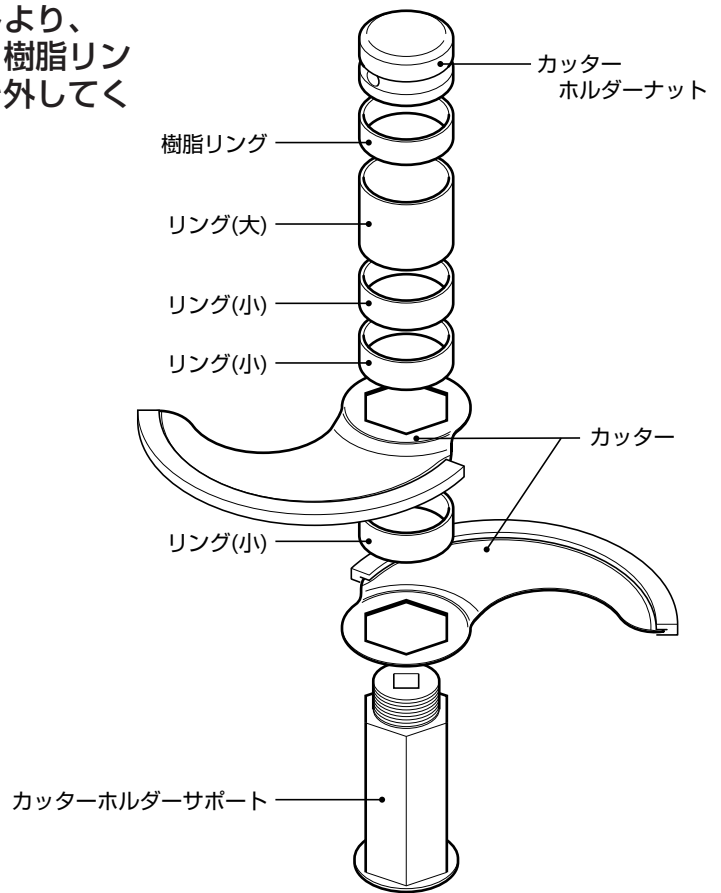
7. カッターホルダーナットの穴部に、カッター取外し棒のかぎ爪状になっている部分を差し込んで、反時計方向に回し、カッターホルダーナットを緩めてください

お願い

日常の分解洗浄を怠ったり、長期間放置しておいた場合は、カッターホルダーナットが固着して緩まなくなることがあります。使用後は必ず分解洗浄をおこなってください。



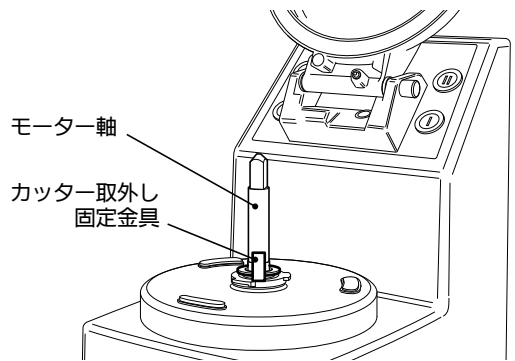
8. カッターホルダーサポートより、
カッターホルダーナット、樹脂リング、
各リング、カッターを外してください



カッターアッセンブリーの組立て方法

1. モーター軸にカッター取外し固定具を取り付けてください

2. カッターの刃先にカッターカバーを取り付けてください



警告

カッターアッセンブリーの刃は、鋭利です。直接刃の部分に触れないこと。誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

3. モーター軸にカッターホルダーサポートをはめてください

4. カッターホルダーサポートにカッター、各リング、樹脂リングをはめてください

カッターは、裏表を間違わないようにし、等角度に取り付けてください。
カッターとカッターの間は、必ずリング(小) 1個のみを取り付けてください。
樹脂リングは、必ずカッターホルダーナットのすぐ下に取り付けてください。

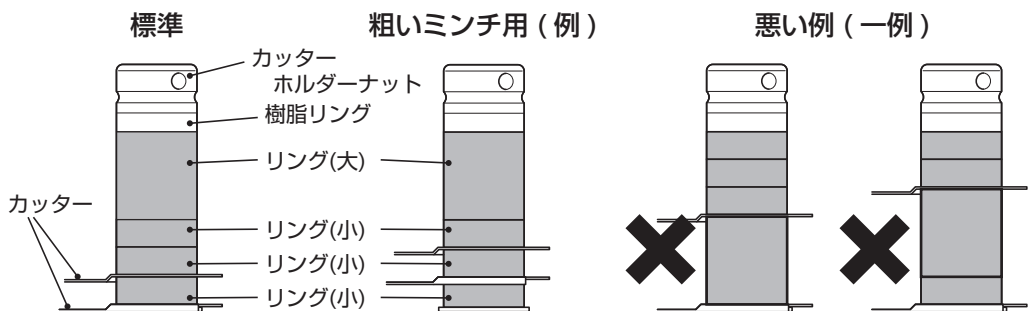
お願い

カッターとリング(大)、リング(小)の取付け位置について

カッターとカッターの間にリング(大)は、入れないでください。
回転のバランスが悪くなり、大きな振動や大きな異音の発生の原因になります。
機械の故障の原因にもなります。

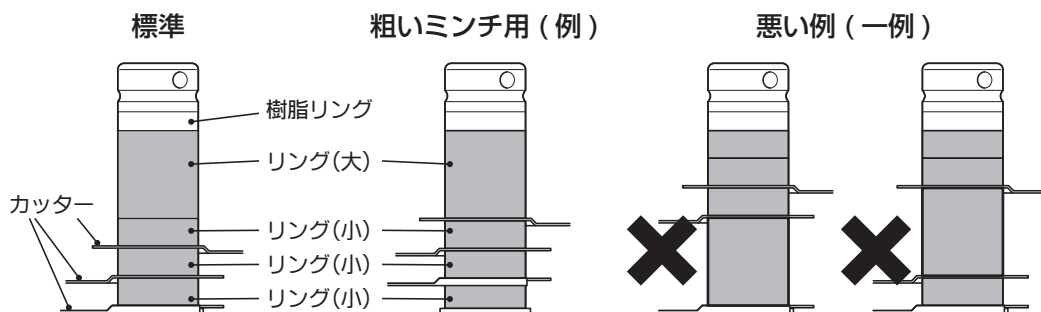
以下の例を参考にしてください。

カッター 2枚使用の場合



カッター 3枚使用の場合

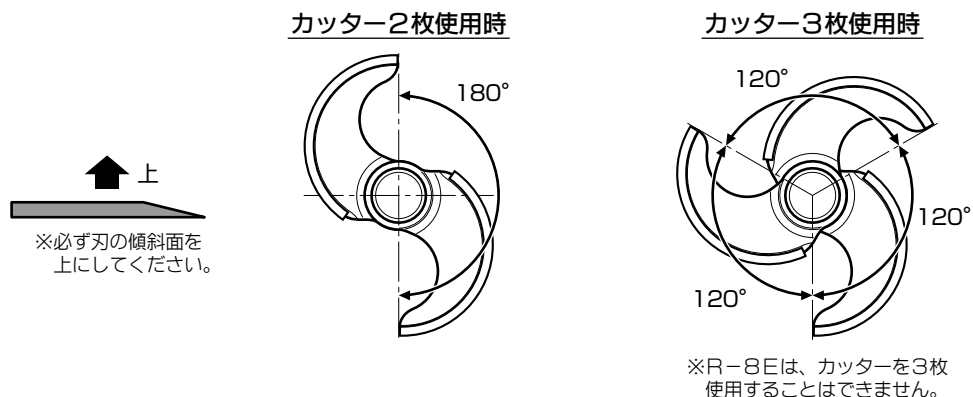
※R-8Eは、カッターを3枚使用することはできません。



カッターの取付け角度について

カッターは、必ずバランスがとれるように等角度に取り付けてください。

カッターを等角度に取り付けないと、機械の故障の原因になります。

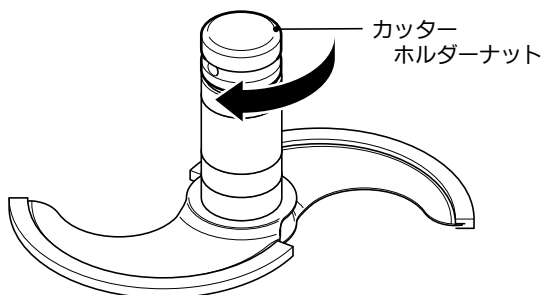


5. カッターホルダーナットを取り付けて、しっかり締め付けてください

⚠ 注意



カッターホルダーサポートのネジ部に付着物があると、カッターホルダーナットが完全に締まらなくなるため、使用後は、きれいに洗浄すること。カッターホルダーナットが完全に締まっていない状態で、使用されますと調理中にカッターホルダーナットが外れて危険です。

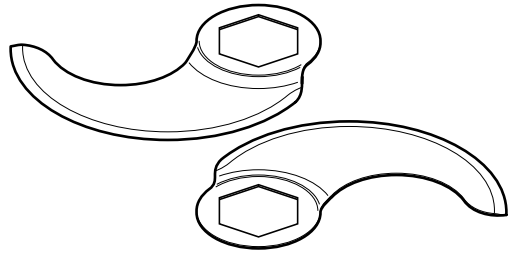


カッターの主な特長と用途

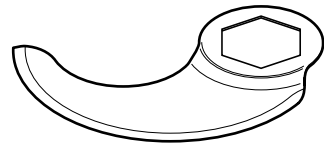
平刃カッター

牛、豚肉などの粉碎をはじめ、野菜などの切り刻みに最適。

レバームース、ソーセージ用挽肉、白腸詰め、パテなどに最適。



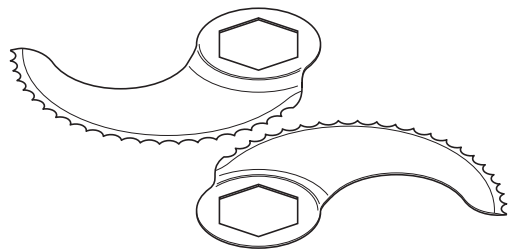
多めの食材は、平刃カッターを3枚ご使用いただくことで早く均等に調理することができます。
(R-8Eは、3枚使用することはできません)



波刃カッター（オプション）

主に堅いものの粉碎をはじめ、製菓製パン用の生地づくりに最適。

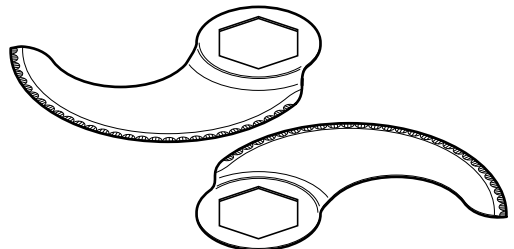
エビ、貝類などの甲殻類の粉碎。
とりのガラントィ、サーモンムース、ブリオッシュ、マジパンなどに最適。



ギザ刃カッター（オプション）

平刃カッターと同じ用途に使用します。

パセリのような葉もの、海藻類などのみじん切りなどにも適しています。



平刃カッターの研ぎかた

平刃カッターは、機械を使用するたびに研ぐのが望ましく、研ぐときは付属の砥石で軽く研いてください。

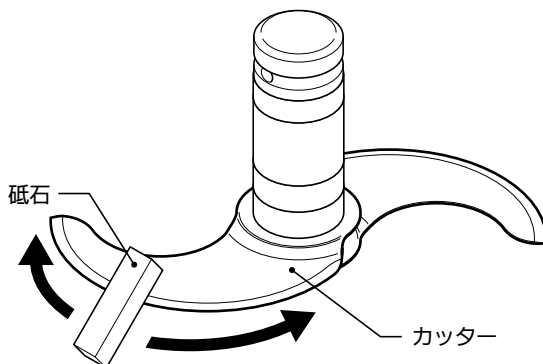
特にパセリを調理した後は、よく研いってください。

オプションの波刃カッターとギザ刃カッターは、研ぐことはできません。

⚠ 警告



カッターアッセンブリーの刃は、鋭利です。直接刃の部分に触れないこと。誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

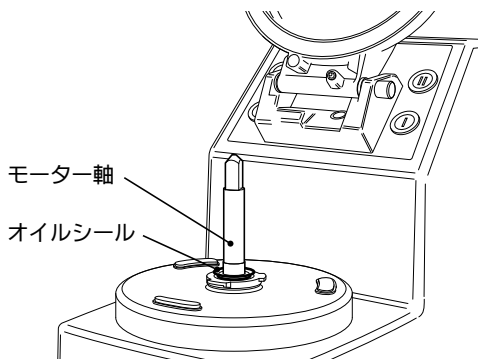


オイルシールについて

オイルシールは、1年に1回交換してください。

また、オイルシールに傷やモーター軸との間にすき間がある場合は、交換してください。容器から食材が漏れた場合、モーター軸内部へ流れ込み、故障の原因になります。

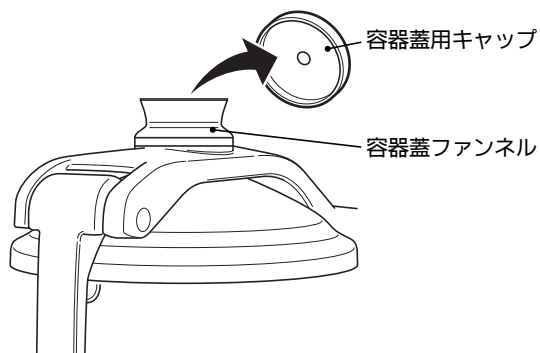
オイルシールの交換は、お買上げ店にご依頼ください。



容器蓋アーム、容器蓋の分解と組立て方法

容器蓋アーム、容器蓋の分解方法

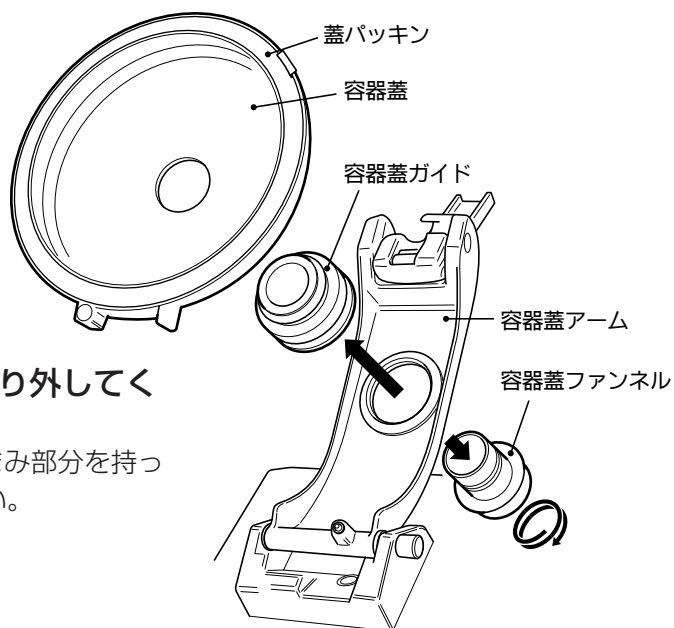
1. 容器蓋ファンネルから、容器蓋用キャップを取り外してください



2. 容器蓋アームから、容器蓋ファンネル、容器蓋ガイド、容器蓋を取り外してください

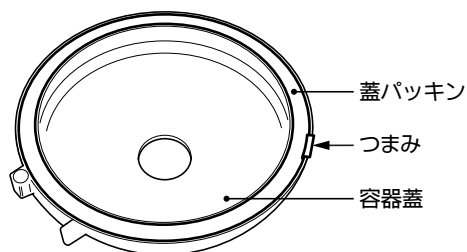
メモ

容器蓋ファンネルを先に取り外さないと、容器蓋ガイドと容器蓋の取り外しができません。



3. 容器蓋から、蓋パッキンを取り外してください

蓋パッキンは、蓋パッキンのつまみ部分を持って容器蓋から引き抜いてください。

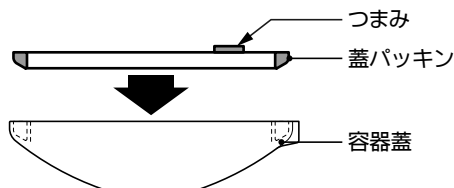


容器蓋アーム、容器蓋の組立て方法

1. 容器蓋に蓋パッキンを取り付けてください

お願い

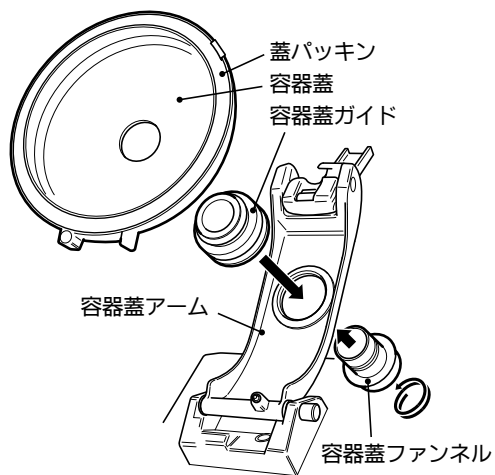
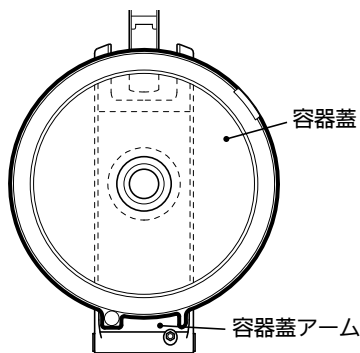
蓋パッキンを取り付ける際は、蓋パッキンの裏表を間違わないようにしてください。



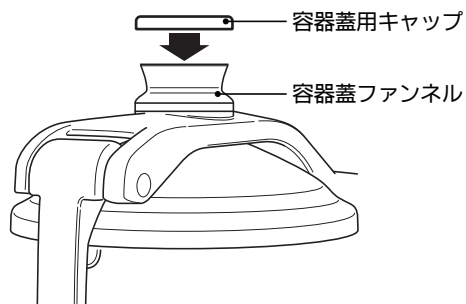
2. 容器蓋アームに容器蓋ガイド、容器蓋を取り付け、容器蓋ファンネルで固定してください

お願い

容器蓋を取り付ける際は、容器蓋の方向に注意してください。



3. 容器蓋ファンネルに、容器蓋用キャップを取り付けてください



お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」おこなってください

- 初めて機械を使用する場合。
- 調理後、速やかに。
- 繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れのときや点検のときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、本機専用電源を「OFF(切)」にすること
誤って操作スイッチに触れた場合、カッターアッセンブリが回転してケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

容器蓋、容器蓋ガイド、容器蓋ファンネル、容器蓋用キャップ、蓋パッキン、カッターアッセンブリの樹脂リングは、食器洗浄機などは使用せずに 85℃以下のお湯で洗浄してください。
高温洗浄すると変形や、変色の原因になります。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。
部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。
傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。
やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、充分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。
塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。
濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

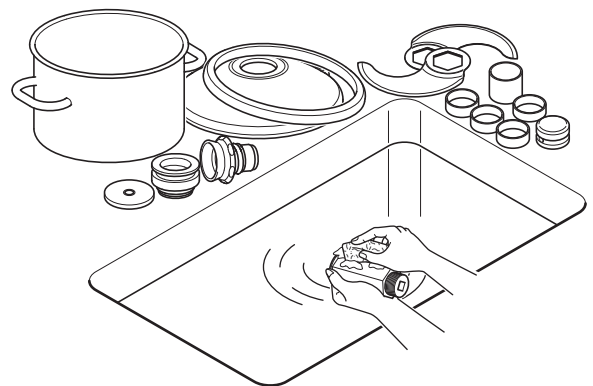
除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

お手入れ

1. 本機専用電源を必ず切ってください
2. 容器蓋ハンドルのロックを解除して、容器蓋を開けてください
3. 本体からカッターアッセンブリーを付けたまま、容器を取り外してください
4. 容器からカッターアッセンブリーを取り出してください
5. 容器蓋から容器蓋用キャップを取り外してください
6. 容器蓋アームから容器蓋を取り外してください
「容器蓋アーム、容器蓋の分解方法」(23 ページ) を参照してください。
7. 水、または温水を流しながら、容器内部、容器蓋、容器蓋ガイド、容器蓋ファンネル、容器蓋用キャップ、蓋パッキン、カッターアッセンブリーをすすぎ洗いで、付着した食材を洗い流してください
8. カッターアッセンブリーを分解してください
「カッターアッセンブリーの分解方法」(17 ページ) を参照してください。
9. コンテナやシンクにぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗剤を入れて溶かしてください

10. 分解した各部品を、除菌洗剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジを用いてきれいに洗ってください

硬いタワシなどでこすると、傷が付きますので布かスポンジで洗ってください。

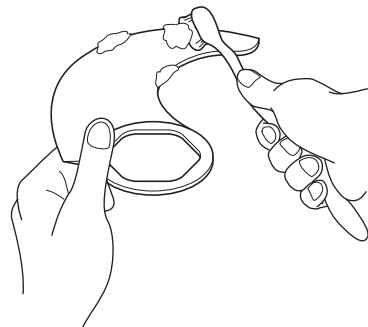


カッターアッセンブリーの各部品は、お手持ちのブラシなどを使用してきれいに洗浄してください。

⚠ 警告



カッターアッセンブリーの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



⚠ 注意

- ❌ お手入れのときは、カッターを洗剤の入ったコンテナやシンクなどに、浸けたままにしておかないこと

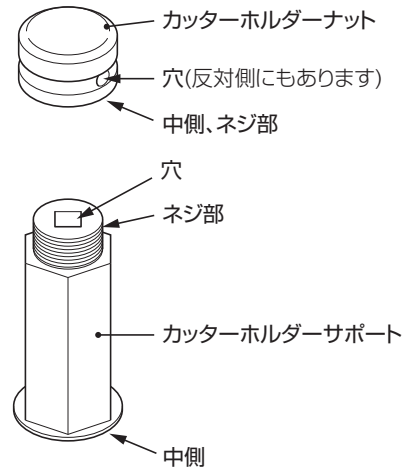
泡でカッターの刃が見えなくなり、誤ってカッターの刃に触れると、ケガの原因になります。

- ❌ カッターアッセンブリー、容器、容器蓋、容器蓋パッキン、容器蓋用キャップ、容器蓋ガイド、容器蓋ファンネルなどは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。

ホルダーナットの穴（2箇所）と、中側に付着した食材は、残らないよう手持ちのブラシなどを使って、きれいに洗浄してください。

カッターホルダーサポートのネジ部分や各穴、カッターホルダーサポートの中側に付着した食材は、残らないよう手持ちのブラシなどを使って、きれいに洗浄してください。



お願い

カッターアッセンブリーの各部品および容器、容器蓋の洗浄は速やかにおこない、洗浄液や水や湯に10分以上漬けたままにしないでください。

漬け置きをしますと、金属部分が錆びる恐れがあります。

11. 除菌洗浄した各部品をきれいな水または温水で、洗剤成分が残らないように、十分すすぎ洗いをしてください
12. 各部品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください
13. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください
14. モーター軸部および本体外装部は、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、汚れをきれいに拭き取ってください

⚠ 警告

- ❌ 本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

- ❌ モーター軸部に付いているオイルシールは、傷を付けないこと

オイルシールを損傷しますと、容器から調理液や洗浄液が漏れた場合、モーター軸内へ流れ込み、漏電、ショート、感電の原因になります。

15. 飲料用のきれいな水で絞った布で拭いて、洗剤成分をきれいに拭き取ってください
16. 空気乾燥させてください
17. 本体をアルコール除菌剤をしみ込ませた布などで拭いて除菌してください
18. カッターアッセンブリーを元通り組立ててください
「カッターアッセンブリーの組立て方法」（19 ページ）を参照してください。
組立てたカッターアッセンブリーは、モーター軸から取り外してください。
19. 本体に容器を取り付けてください
20. 容器蓋を取り付けてください
「容器蓋アーム、容器蓋の組立て方法」（24 ページ）を参照してください。

エキストラ容器（オプション）の使いかた

エキストラ容器は、本機の容器と同じ調理をしますが、少量の仕込みの場合（食材が少量のため、標準の容器では仕上がり状態が悪い場合や、少量の香辛料などの調理）にご使用ください。

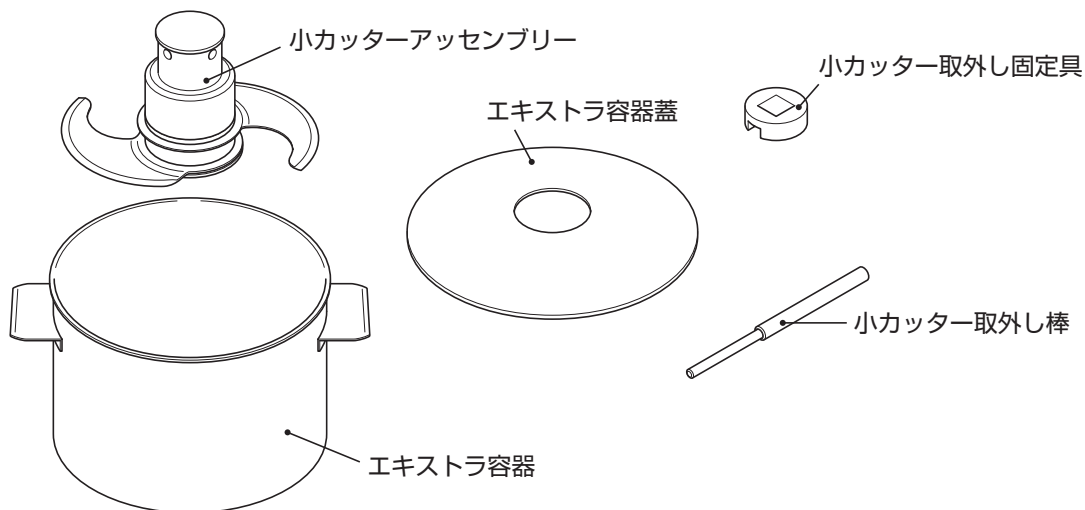
お願い

エキストラ容器は、容器の中にセットして使用する構造になっています。
本体にエキストラ容器のみ取り付け使用することはできません。

エキストラ容器の部品

エキストラ容器の部品が揃っているか確認してください

エキストラ容器 (R-8E用)	: 内径 φ 185・高さ 120mm、質量 0.8kg、容器容量 3.0L	……	1 個
エキストラ容器 (R-10E/R-15E用)	: 内径 φ 185・高さ 153mm、質量 0.95kg、容器容量 4.0L	…	1 個
エキストラ容器蓋		……	1 個
小カッターアッセンブリー	(φ 178、高さ 82mm、質量 0.6kg)	……	1 個
小カッター取外し棒		……	1 本
小カッター取外し固定具		……	1 個



メモ

オプションでエキストラ容器用の波刃カッターとギザ刃カッターもご用意しています。
波刃カッターとギザ刃カッターは2枚1組になります。

エキストラ容器を取り付けて調理する方法

1. 調理を始める前に、「お手入れ」(25 ページ) を参照して、エキストラ容器、容器蓋、小カッターアッセンブリー、エキストラ容器蓋をきれいに洗浄してください

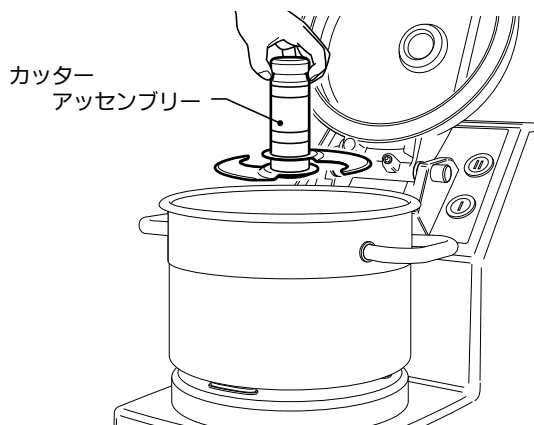
標準のカッターアッセンブリー、容器の手順と同様

2. 容器蓋を開けてください

10 ページ「2.」の手順と同様

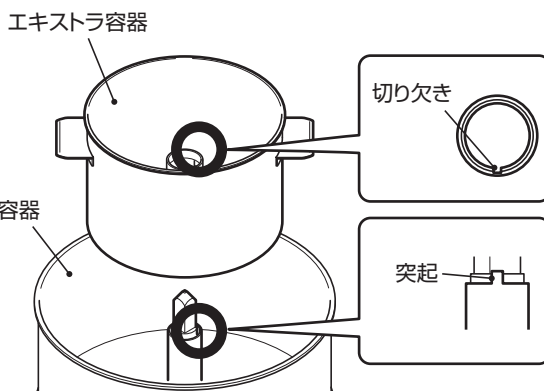
3. 標準のカッターアッセンブリーをモーター軸より抜き取ってください

容器は取り外さず、取り外さないでください。

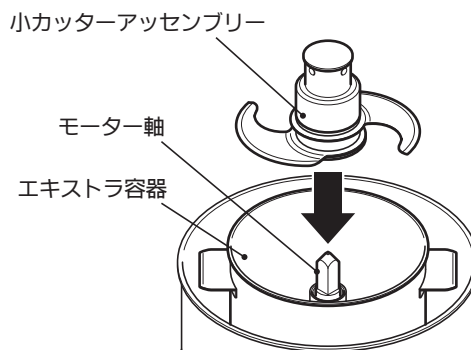


4. 容器内にエキストラ容器を取り付けてください

容器のブレードケーシングにエキストラ容器をはめ込み、左右いずれかに少し回してコトンと落ち込む位置まで下げます。容器のブレードケーシング上部の突起部が、エキストラ容器のブレードケーシング内の切り欠き部分にはまって正しくセットされます。



5. 小カッターアッセンブリーをエキストラ容器内のモーター軸に差し込み、左右いずれかに少し回してコトンと落ち込む位置まで下げてください



6. 食材をエキストラ容器内に入れてください

お願い

食材は入れ過ぎないようにしてください。

1回に調理できる量は、食材により異なりますが、目安として容器の1/3～2/3の範囲内にしてください。

液体の食材は、調理しないでください。

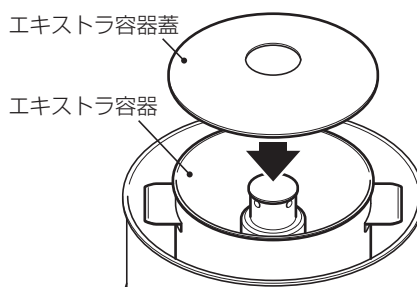
液体の食材を調理されますと、ブレードケーシングの上端よりモーター軸部から機械内部に流れ込み、故障の原因になります。

7. エキストラ容器にエキストラ容器蓋を取り付けてください

お願い

エキストラ容器蓋は、裏表があります。エキストラ容器蓋を容器に取り付ける際、向きを間違わないようにしてください。

エキストラ容器蓋の向きを間違えている場合、調理中に食材が漏れます。エキストラ容器が安定しません。



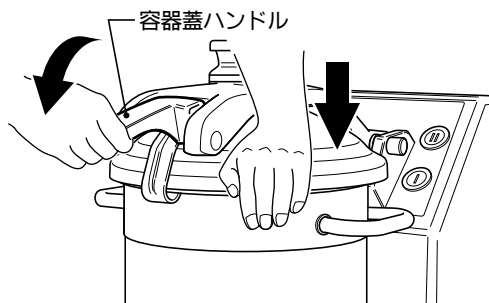
8. 本機専用電源を『ON(入)』にしてください

調理スタンバイ表示ランプ(緑)が点滅します。

9. 容器蓋を閉めてください

容器蓋を下ろし、蓋をしっかりと押さえ付けながら、容器蓋ハンドルを下げてもロックしてください。

調理スタンバイ表示ランプ(緑)が点灯に切り替わり、調理可能状態になります。



10. 操作スイッチを押して調理をおこなってください

12ページ「7.」を参照してください。

11. 調理が終われば、停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、本機専用電源も『OFF(切)』にしてください

警告



容器に食材を入れるときや取り出すときは、停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
誤って操作スイッチに触れた場合、小カッターアッセンブリーが回転してケガをする恐れがあります。

お願い

調理中および調理完了後に機械の運転を止めるときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤)を押して止めてください。

運転中に容器蓋を開けて運転を止める使いかたをしますと、故障の原因になります。

12. 容器蓋を開けて、エキストラ容器を取り外してください

警告



小カッターアッセンブリーの回転が完全に止まるまでは、容器蓋を開けないこと
誤って小カッターアッセンブリーに触れた場合、ケガの原因になります。
食材が飛び散り、周囲を汚す原因にもなります。

容器蓋を開けてください。

エキストラ容器からエキストラ容器蓋を取り外してください。

小カッターアッセンブリーが入った状態のまま、エキストラ容器の取手を持って、エキストラ容器を真上に持ち上げてモーター軸から取り外してください。

13. エキストラ容器から小カッターアッセンブリーを取り出し、食材を他の容器に取り出してください

警告



容器内の食材の取り出しは、先に小カッターアッセンブリーを取り外してからおこなうこと
誤ってカッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

14. 使用後は、各部を洗浄、清掃してください

エキストラ容器、エキストラ容器蓋、小カッターアッセンブリー、容器蓋、モーター軸を「お手入れ」(25 ページ)を参照して洗浄、清掃をおこなってください。

小カッターアッセンブリーの分解方法

⚠ 警告



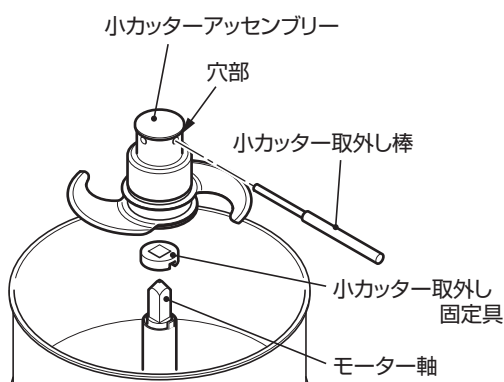
小カッターアッセンブリーの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って小カッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

1. 容器を本機に取り付けておいてください

2. モーター軸に小カッター取外し固定具を差し込んでください

小カッター取外し固定具の溝がある面を下側にして、モーター軸に差し込んでください。

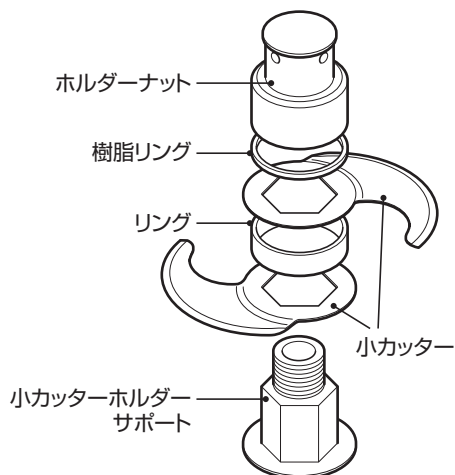
容器のブレードケーシングの上部の突起部に、小カッター取外し固定具の溝を合わせてはめ込んでください。



3. ホルダーナットの穴部に小カッター取外し棒を差し込んで、小カッターアッセンブリーをモーター軸に取り付けてください

4. 小カッター取外し棒を持って、ホルダーナットを反時計方向に回して緩めてください

5. 小カッターホルダーサポートより、ホルダーナット、樹脂リング、小カッター、リングを外してください



⚠ 注意



小カッターホルダーサポートのネジ部に付着物があると、ホルダーナットが完全に締まらなくなるため、使用後は、きれいに洗浄すること
ホルダーナットが完全に締まっていない状態で、使用されますと調理中にホルダーナットが外れて危険です。

小カッターアッセンブリーの組立て方法

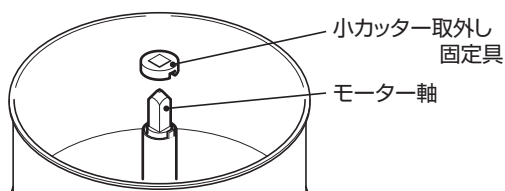
⚠ 警告



小カッターアッセンブリーの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと
誤って小カッターアッセンブリーの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

1. モーター軸に小カッター取外し固定具を取り付けてください

小カッター取外し固定具の溝がある面を下側にして、モーター軸に差し込んでください。
容器のブレードケーシングの上部の突起部に、小カッター取外し固定具の溝を合わせてはめ込んでください。



2. モーター軸に小カッターホルダーサポートを差し込んでください

3. 小カッターホルダーサポートに小カッター、リング、樹脂リングをはめてください

小カッターは、裏表を間違わないようにし、等角度に取り付けてください。

お願い

小カッターは、必ずバランスがとれるように等角度に取り付けてください。
小カッターを等角度に取り付けないと、機械の故障の原因になります。



4. ホルダーナットを取り付けて、しっかり締め付けてください

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
 症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、本機専用電源も『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確 認	手 当
低速連続調理スイッチ「①」(緑)または高速調理スイッチ「⑩」(緑)、パルススイッチ「◎」(黒)を押しても動作しない。	本機専用電源が「OFF(切)」になっていませんか？	本機専用電源を「ON(入)」にしてください。
	容器は、正しくセットされていますか？	容器を正しくセットしてください。
	容器蓋は、正しくセットされていますか？	容器蓋を正しくセットしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	粘度の高い食材を調理していませんか？	停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、本機専用電源を「OFF(切)」にして、時間を置いてから再度本機専用電源を「ON(入)」にしてください。
調理中に機械が止まった。	食材の量が、多すぎではありませんか？	
	本機が、異常に熱くなっていますか？	<p>本機には、モーター保護装置が付いており、モーターが過熱した場合、自動的に機械が止まります。モーター保護装置がはたらいて止まったときは、停止スイッチ「◎」(赤)を押して機械を止め、本機専用電源も「OFF(切)」にしてください。モーターへの過負荷の原因を取り除いてください。</p> <p>容器内の食材の量を少なくしてください。</p> <p>容器内に異物が混入していれば、それを取り除いてください。</p> <p>モーターを30分以上休ませて冷ましてください。</p> <p>モーターが作動できる温度まで冷めると、モーター保護装置が自動的に復帰します。</p> <p>本機専用電源を「ON(入)」にし、低速連続調理スイッチ「①」(緑)または高速調理スイッチ「⑩」(緑)を押して、正常に動作すればモーター保護装置は復帰しています。復帰を確認後、改めて調理を始めてください。</p>

状 態	確 認	手 当
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	丈夫な場所に設置してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	容器蓋は、正しくセットされていますか？	容器蓋を正しくセットしてください。
	カッターアセンブリは、正しく組立てられていますか？	カッターアセンブリを正しく組立ててください。 10 ページ参照
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	カッターアセンブリは、正しく組立てられていますか？	カッターアセンブリを正しく組立ててください。 10 ページ参照
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

仕様

品名	ロボクープ カッターミキサー			
型式	R-8E	R-10E	R-15E	
外形寸法	幅 310・奥行 560・高さ 585mm (突起物を含む 幅 400・奥行 585mm) (蓋開時 奥行 810・高さ 910mm)	幅 345・奥行 575・高さ 655mm (突起物を含む 幅 400・奥行 600mm) (蓋開時 奥行 810・高さ 980mm)	幅 360・奥行 625・高さ 680mm (突起物を含む 幅 445・奥行 650mm) (蓋開時 奥行 870・高さ 1035mm)	
電源	三相 200V 50/60Hz			
電流	11A	11A	12A	
消費電力	3.1kW	3.1kW	3.4kW	
安全装置	蓋安全装置、容器安全装置（ブレーキ装置付）、モーター保護装置			
回転数	低速：1,500rpm / 高速 3,000rpm (50Hz) 低速：1,800rpm / 高速 3,600rpm (60Hz)		無負荷時 無負荷時	
材質	本体	FRP 樹脂		
	容器	ステンレス SUS304 (内径φ 280・深さ 140mm・質量 3.8kg)	ステンレス SUS304 (内径φ 280・深さ 185mm・質量 3.9kg)	ステンレス SUS304 (内径φ 320・深さ 185mm・質量 5.9kg)
	容器蓋ファンネル	ポリアセタール		
	容器蓋	ポリカーボネイト		
容器容量	8.0L	11L	15L	
液体物調理量	4.3L	5.2L	6.8L	
質量	39kg (本体：33.7kg + 容器・ カッターアッセンブリー：5.3kg)	43kg (本体：37.5kg + 容器・ カッターアッセンブリー：5.5kg)	50kg (本体：42.5kg + 容器・ カッターアッセンブリー：7.5kg)	
電源コード	長さ：3.5m 4心			

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

主要部品	カッターアッセンブリー …………… 1 個
付属品	平刃カッター (R-8E は付属していません) …………… 1 枚 砥石 …………… 1 個 カッター取外し固定具 …………… 1 個 カッター取外し棒 …………… 1 本
オプション	波刃カッター ギザ刃カッター エキストラ容器 (R-8E 用、小カッターアッセンブリー付) エキストラ容器 (R-10E/R-15E 用、小カッターアッセンブリー付) エキストラ容器用 波刃カッター エキストラ容器用 ギザ刃カッター

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。
保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。
返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

カッター	オイルシール
容器蓋	容器蓋用キャップ
パッキン類	カッターカバー
カッター取外し棒	カッター取外し固定具
Oリング	—

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202204 PF'